

東北町議会だより

第6号

発行 東北町議会
編集 東北町議会広報
特別委員会
電話 0176-56-3111
内線 312
住所 東北町上北南
四丁目32-484



11月4日 生き活きまつりオープニングセレモニー

主な内容

- ・東北町議会議員の紹介…………… 2 P
- ・東北町議会各種委員会所属議員名簿…………… 3 P
- ・主たる行政報告…………… 4 P
- ・一般質問…………… 9 P
- ・各種委員会及び協議会の活動…………… 12 P
- ・委員会報告…………… 14 P



議長就任あゆむ

東北町議会議長

檜館 長吉

この度、新東北町第1回町議選の結果をうけて十月十日開催されました臨時議会において、はからずも不肖、私が第二代目の議長に選任されました。私にとりましては誠に身に余る光栄でありますと共に、改めてその任の重大さを再認識している次第でございます。

合併二年目となった東北町の現況は合併議論がなされた平成十五年、十六年からの見通しよりもっと厳しい状況下にあり、三位一体改革も道なかば、国の財政難がそのまま地方に流れてきた感じであります。

今、日本は統計上ではイザナギを超える好景が続いて

いるといいますが、地方は都市との格差が大きく、特に県内農村部の水準は低く、中央で考えるような状況にはありません。このような現実のなかで新町計画が果たして計画通り実現できるのかと考えさせられます。

時の流れは早く、経済を取り巻く環境は今後ますます変化が予想されるところであります。私は、新生東北町について今一度、じっくりと考えるべき時かとの思いであります。まさに変革の時代、私如き浅学非才の者が議長として議員各位と共に将来を誤らぬよう町政に参画するには力不足であります。町民の良識と御指導を戴き、住民の求める課題にこたえるべく、その職責を全うしたい決意であります。

私は町政については公正公平を基本とし、議会の運営は共に歩むことが肝要との思いから議員相互の信頼関係による和を求める所存であります。町民皆様の深いご理解とお力添えを心からお願ひ申し上げます。まして就任の挨拶といたしま

東北町議会議員のご紹介



副議長 笹倉 健



議員 市川 俊光



議員 岡山 柏男



議員 山端 伸憲



議員 蛭名 鉦治



議員 沼田 徳右衛門



議員 蛭沢 達也



議員 田嶋 悟



議員 蛭沢 正雄



議員 森川 盛人



議員 乙供 吾一



議員 佐々木 スミヨ



議員 沼山 喜久男



議員 蛭沢 正紀



議員 山田 己之吉

東北町議会各種委員会所属議員名簿

議長 榎 館 長 吉
副議長 笹 倉 健

◎総務企画常任委員会

委員長	沼田 徳右衛門	
副委員長	蛭 沢 達 也	
委員	榎 館 長 吉	山 田 己之吉
	市 川 俊 光	山 端 伸 憲

◎原子燃料サイクル対策等特別委員会

委員長	蛭 沢 正 雄	
副委員長	岡 山 粕 男	
委員	山 田 己之吉	乙 供 吾 一
	佐々木 スミヨ	

◎産業建設常任委員会

委員長	岡 山 粕 男	
副委員長	田 嶋 悟	
委員	沼 山 喜久男	蛭 沢 正 紀
	蛭 沢 正 雄	

◎基地対策特別委員会

委員長	森 川 盛 人	
副委員長	蛭 名 鉦 治	
委員	沼田 徳右衛門	沼 山 喜久男
	蛭 沢 達 也	

◎教育民生常任委員会

委員長	佐々木 スミヨ	
副委員長	乙 供 吾 一	
委員	笹 倉 健	森 川 盛 人
	蛭 名 鉦 治	

◎道路整備促進特別委員会

委員長	蛭 沢 正 紀	
副委員長	田 嶋 悟	
委員	笹 倉 健	市 川 俊 光
	山 端 伸 憲	

◎議会運営委員会

委員長	森 川 盛 人	
副委員長	佐々木 スミヨ	
委員	山 田 己之吉	乙 供 吾 一
	沼田 徳右衛門	蛭 沢 正 雄
	岡 山 粕 男	

◎議会広報特別委員会

委員長	笹 倉 健	
副委員長	蛭 沢 正 雄	
委員	佐々木 スミヨ	沼田 徳右衛門
	森 川 盛 人	岡 山 粕 男

◎中部上北広域事業組合議会議員

定数4人	山 田 己之吉	乙 供 吾 一
	沼 山 喜久男	蛭 沢 正 紀

◎農業委員

委員	沼田 徳右衛門	沼 山 喜久男

◎上北地方教育・福祉事務組合議会議員

定数1人	佐々木 スミヨ
------	---------

◎監査委員

委員	田 嶋 悟
----	-------

◎十和田地区食肉処理事務組合議会議員

定数2人	蛭 沢 達 也	田 嶋 悟
------	---------	-------

◎小川原湖広域水道企業団議会議員

定数1人	山 端 伸 憲
------	---------

9月定例会 主たる行政報告



町長 竹内 亮一

地方交付税・予定より 大幅増額

財政課関係

七月二十五日に国から、本町財政の大宗を成す普通交付税の交付決定額三十八億六千三百十万三千円が示されました。

この交付決定額は、前年度交付額に対して六十二万九千円の減で、ほぼ同額となるもので当初予算策定時に国から地方財政計画で示された五・九%の減に比べ大幅に増額交付となり、少なからず町財政の好転に寄与するものと思っておりますが、引き続き健全財政の確立のため行財政改

革を推し進めて参りたいと思
います。

また、六月定例議会においてご承認を頂きました、町債の借換えにつきましては、民間町債は県から八月一日付けで同意の回答があり既に実行済みであります。国からの起債については、九月末までに借換えの完了に向け事務を進めているところであります。

並行在来線の有効利用 策を

企画課関係

七月四日に「東北町青い森鉄道活用協議会」を設置いたしました。

これは、新幹線新青森駅開業で、JRから経営分離される並行在来線の有効利用策を探るため、町内の商工・農林関係者や駅周辺地域の住民代表等からなる二十一名の方々に委嘱したものであります。この協議会は、今年十一月末までに「有効利用策案」をまとめ、報告書を提出していただくこととなっております。

湖水まつり・東北町秋 まつり開催

商工観光課関係

七月二十九日から三十日の両日にわたり、小川原湖公園を主会場に東北町湖水まつりを開催いたしました。

初日は、第五回を迎えた創作花火コンクールなどのほか、よさこいまつりも実施しました。よさこいまつりは地元の色湖舞姫会のほか、多数の参加チームがあり花火大会までの時間を盛り上げました。

二日目は、宝探し大会やレーク演奏会のほか、昨年までわかさぎ公園で行っていた「いかだレース」や「ビーチフラッグス」などのイベントも、小川原湖公園に移して開催しました。

会期中はあいにくの霧雨により、小川原湖公園での集客数は大幅に落ち込みましたものの初日は五万人、最終日は二万人の方々が新しい東北町の湖水まつりを楽しまれたものと推測しております。

又、同期間でわかさぎ公園においても湖水まつりが開催され、七月二十九日のわかさ

【議会の動き】

六月

- 2日○議会運営委員会
- 4日○上北郡総合体育大会解
団式
- 6日○核燃税についての意見
交換会
- 8日○東北町議会定例会(開
会)
- 9日○知事のながいも春作業
等巡回調査
- 9日○町子ども会育成連絡協
議会設立総会
- 11日○甲地分館体育大会
- 11日○東北町分屯基地創立記
念行事記念昼食会
- 12日○東北町議会定例会(一
般質問)
- 12日○議会運営委員会
- 13日○東北町議会定例会(一
般質問・議案審議)
- 14日○東北町議会定例会(議
案審議)
- 20日○とうほく天間農業協同
組合通常総代会
- 21日○東北町小学校陸上競技
大会
- 21日○原子燃料サイクル施設
隣接市町村連絡協議会
意見交換会

ぎマラソンも盛大のうちに挙行されました。

次は、秋まつりですが、今年度から旧上北町の秋まつりを「東北町秋まつり」に、旧

東北町の秋まつりを「日の本中央たいまつ祭」と改め、その東北町秋まつりが、八町内会による自主制作山車を中心

に、八月二十四日の前夜祭を皮切りに、四日間の日程で行われ、自主制作の山車も今年で四年目と言うこともあり、創意工夫された立派な山車で、見事な行列となりました。

併せて、各町内会の神楽、流し踊り、仮装、保育園児及び彩湖舞姫会のおよこいソーラン、そして上北中学校生徒によるねぶた運行と流し踊り

等々、その豪華と華麗さ、威勢さが今年の豊年豊作を呼び寄せているようでした。期間中は天候にも恵まれ、延べ三万五千人もの人出があり、町民を大いに楽しませました。

又、九月七日から、日の本中央たいまつ祭が始まります。みこし山車運行、仮装大会、流し踊り大会、ナニヤドヤラ大会、たいまつ祭、終演花火、東北中生徒による吹奏楽パレ

ード等々いろいろなイベントがありますので、町民多数の参加及び観覧されますことをお願い申し上げます。

基地対策関係事業・調整交付金事業・国土交通省等関係事業の発注進む

建設課関係

本年度予定している基地対策関係事業のうち、小川原保育園防音機能復旧工事、上北中学校防音機能復旧事業実施設計業務委託、東北町まちづくり構想基本計画策定業務委託、岩渡沢川改修工事実施設計業務委託については、発注済であります。

又、調整交付金事業では、上清水目町内線、町道423号線（旭町）改良舗装工事、町道394、373号線実施設計業務委託は、すでに発注済で、その他の今年度予定事業についても、今、交付申請業務を進めており、交付決定があり次第発注をして参りたいと考えております。

更に、国土交通省等関係事業については、朝日団地公園

緑地工事、坂下町・乙供停車場線実施設計業務委託、町道548（高清水）号線実施設計業務委託、蓼内・根前線外1実施設計業務委託についても発注済で、今後とも事務手続きが完了した事案から順次発注を進めて参りたいと考えております。

又、六月定例会終了後の六月二十八日から二十九日にかけて、一般国道45号「上北道路」の早期完成、三沢飛行場の運用による障害緩和に係る要望活動を、国土交通省東北地方整備局、仙台防衛施設局並びに国土交通省本省、防衛施設庁、財務省、県選出国會議員等に行っております。

特に、三沢基地関係の要望では、北原防衛施設庁長官を初め、木村太郎防衛庁副長官に、地域の実態、民生安定のためにも生活環境整備の必要性を直ちに訴える機会を与えてもらいました。国土交通省においても、谷口道路局長、佐藤事務次官と直接面談をし、地域振興のためにも「上北道路」の早期完成を強力に要望を致して参りました。

水稲「平年並み」・長いも低迷

農林水産課関係

六月から七月にかけて、低温・日照不足となり梅雨明けは八月二日で平年より六日遅い状況でありました。

この影響で、水稲の生育状況は数日遅れであったが、八月に入ってから好天で回復し、八月十五日現在の作柄概況は「平年並み」と発表されました。

野菜については、八月十日の調査によると、長いものが平年より生育は遅れておりますが、天候次第で平年並みの収穫が期待できるものと思っております。価格面では、長いものが依然として低迷しておりますが、全体的には高い水準で推移してきました。

畜産については、酪農において、乳質による出荷規制が行われておりますが、八月に入ってから高温による牛体への影響が出始めております。

「新東北町チーム」県民体育大会総合6位

スポーツ振興課関係

24日○県小学生駅伝競走大会
25日○県消防協会上十三支部中部上北地区消防連絡協議会連合観閲式

七月

- 1日○かみきた夏まつり
- 8日○けやき寮開設15周年記念式典及び祝賀会
- 9日○東北町民大運動会
- 11日○原子燃料サイクル施設隣接市町村議長連絡協議会要望
- 11日○千曳駐在所廃止に伴う陳情
- 12日○中部上北議会協議会理事會
- 12日○十和田市議會議長、三沢市議會議長及び郡町村議會議長会の懇談會
- 13日○県下町村議會議員研修會
- 14日○全国市議會議長會基地協議會理事會
- 19日○東北新幹線牛鍵トンネル費通式
- 20日○国道394号整備促進期成同盟會總會
- 21日○青友會納涼パーティー
- 22日○上北療護園納涼祭
- 24日○県町村議會議長會理事會

六月二十四日、北総合運動公園で開催された青森県小学生駅伝競走大会に、県内から男女各十六チーム、東北町から四校が参加され、蛭沢小学校・男子が二年ぶりに優勝、ちびきクロスカントリー部が準優勝、女子は蛭沢小学校が三位に入賞しました。

七月九日には、町が合併されてから最初の第一回町民大運動会が北総合運動公園で、二十チーム、選手約五百人が集い、盛大に開催され、水喰チームが見事優勝に輝きました。町民各位のご協力・ご声援に改めて感謝と御礼を申し上げます。

又、青森県スポーツ少年団ソフトボール大会が六月二十二日から二日間、南総合運動公園ふれあいドーム上北において開催され、町を代表し第一小学校と上北小学校の二チームが参加され上北小学校スポーツ少年団がBブロックで準優勝されました。

同日、むつ市を中心に開催された北奥羽総合体育大会に、東北町チームは上北郡代表の中核として出場し、ボーリング及び柔道競技で優勝、陸上

競技では種目別優勝をし、上北郡チームは総合三位と健闘されました。

湖水まつり期間の初日の七月二十九日に、第二十一回わかさぎマラソン大会が、わかさぎ公園で開催され、全国各地から今までの大会で最大となる約千三百人の愛好者が参加され、爽やかに湖畔コースで健脚が競われました。

七戸町長杯兼七戸地区防犯小中学校野球・ソフトボール大会が八月一日・二日の両日に七戸町で開催され、四種目すべての決勝対戦が東北町チームとなり、野球では小川原小学校と上北中学校が優勝、小学校と上北中学校が準優勝しました。

八月五日、鶴田町で開催されました第二十七回B&G青森県スポーツ大会に水上・水泳・剣道の部に出場し、水泳の部で総合優勝、剣道が準優勝、水上の部では多数の個人入賞がありました。

青森県最大のスポーツ行事である、第六十一回市町村対抗県民体育大会が、弘前市を主会場に八月十九日・二十日の二日間の日程で開催され「新東北町」チームとして、十二種目に百八十余名が出場しました。町の部の総合で第六位となり、これは上北郡でトップの好成績であります。

種目別では、柔道・男子ソフトボール・家庭婦人バレーボール・ボーリング団体の四種目で優勝し、男子バレーボールが準優勝、そして卓球・男子、陸上競技が第三位と、各種目において、健闘・活躍されました。選手並びに関係者各位に、改めて感謝を申し上げます。

成人二百六十八名・図書館事業「まなびや」併設

中央公民館関係

八月十五日、コミュニティセンター未来館において、平成十八年度の成人式が開催され、二百六十八名の対象者のうち百六十五名、六二%の出席者となり、盛会に挙行され、それぞれの思いで新成人としての誓いのもと新たな人生をスタートさせました。

将来の東北町を担う立派な社会人になるものと大いに期待をすることであります。図書館事業としては、七月から放課後児童健全育成事業の学童クラブ七ヶ所に「まなびや」を併設し、図書館職員二名を週一回、一時間二時間程度派遣し、学習や読み聞かせによる読書活動ができる環境の整備を図っているところであります。

町民各位には、沿道やテレビ観戦での応援をよろしくお願いたします。

監事合同会議

- 28日○上清水目町内会陳情訪問
- 29日○わかさぎマラソン大会
- 29日○湖水まつり開幕式(テニスカット)
- 29日○おがわら湖よさこいまつり
- 29日○花火大会(創作花火コンクール)
- 30日○公立松風荘「夏まつり」
- 31日○上十三市町村議会議長の県知事要望

八月

- 2日○東北町納税貯蓄組合連合会定例総会並びに優良納税貯蓄組合表彰式
- 4日○原子燃料サイクル施設隣接市町村議会議長会県知事要望
- 5日○けやき寮夏まつり
- 8日○県町村議会議長会臨時総会
- 8日○東北町交通安全協会設立総会(東北地区)
- 9日○東北町遺族会総会
- 9日○東北町戦没者追悼式
- 9日○東北町議会議員協議会
- 10日○東北町交通安全協会設立総会(上北地区)
- 10日○市町村対抗青森県民大会結団式

平成17年度

各会計決算8件を認定する

(単位：円)

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	12,021,726,573	11,905,097,144	116,629,429
国民健康保険 事業特別会計	2,855,659,219	2,680,355,222	175,303,997
老人保健 特別会計	2,243,013,625	2,213,371,719	29,641,906
介護保険 特別会計	1,699,765,971	1,670,468,766	29,297,205
公共下水道 事業特別会計	604,254,322	601,316,428	2,937,894
農業集落排水 事業特別会計	76,740,499	75,626,557	1,113,942
簡易水道 事業特別会計	298,328,257	291,564,920	6,763,337
水道事業会計 (消費税は除く)	178,033,979	182,221,556	△ 4,187,577
計	19,977,522,445	19,620,022,312	357,500,133



決算審査報告をする
蛭名義政委員長

9月定例会は、9月1日招集され6日までの4日間で開催されました。また、9月5日に決算審査特別委員会を設置し、各会計8件が審議されました。なお、9月6日の本会議（議案審議）で原案どおりいずれも可決されました。審議された議案は以下のとおりです。

- ◎平成十七年度青森県新産業都市建設事業団特定事業の決算報告について
- ◎平成十七年度青森県新産業都市建設事業団特定事業以外の事業の決算報告について
- ◎専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（平成十八年度東北町国民健康保険事業特別会計補正予算）
- ◎平成十八年度東北町一般会計補正予算案
 - ・予算の総額に三億六千九百八十七万八千円を追加し、総額を百二十七億三千二百八十五万二千円とする
- ◎平成十八年度東北町国民健康保険事業特別会計補正予算案
 - ・予算の総額に三千三百九十八万二千円を追加し、総額を二十八億五千四百三十四万二千円とする
- ◎平成十八年度東北町老人保健特別会計補正予算案
 - ・予算の総額に二億四千六百四十九万五千円を追加し、総額を二十一億九千七百二十一万七千円とする
- 11日○中部上北議会議員・町四役健康増進交流会（ラウンドゴルフ大会）
- 15日○東北町成人式
- 17日○那町村議会議長会定例会
- 18日○船ヶ沢分場漁業用桟橋建設工事安全祈願祭
- 20日○市町村対抗青森県民大会解団式
- 21日○総務企画常任委員会
- 21日○産業建設常任委員会
- 22日○教育民生常任委員会
- 22日○県原子力施設環境放射線監視委員会
- 24日○秋まつり（前夜祭）
- 25日○秋まつり（初日）
- 26日○秋まつり（中日）
- 27日○秋まつり（最終日）
- 28日○（株）ショウナン落成式
- 28日○議会運営委員会

◎平成十八年度東北町介護保険特別会計補正予算案

・ 予算の総額に二千九百九十五万一千円を追加し、総額を十七億七千六百三十三万三千円とする

◎平成十八年度東北町介護サービス事業特別会計補正予算案

・ 歳出予算の補正

◎平成十八年度東北町農業集落排水事業特別会計補正予算案

・ 歳入予算の補正と地方債の補正

◎平成十八年度東北町公共下水道事業特別会計補正予算案

・ 歳入予算の補正と地方債の補正

◎平成十八年度東北町簡易水道事業特別会計補正予算案

・ 予算の総額から三百万円を減額し、総額を二億四千九百九十七万七千円とする

◎平成十八年度東北町上水道事業会計補正予算案

・ 支出予定額を八万一千円

追加し、収益的支出の予定額を一億九千七百九十三万五千円とする

◎東北町国民保護協議会条例案

・ 武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づき、東北町国民保護協議会の組織及び運営について必要な事項を定めるためのもの

◎東北町国民保護対策本部及び東北町緊急対処事態対策本部条例案

・ 武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づき、東北町国民保護対策本部及び東北町緊急対処事態対策本部に關し、必要な事項を定めるためのもの

◎東北町国民健康保険条例の一部を改正する条例案

・ 健康保険法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、前期高齢者のうち現役並み所得者の負担割合及び出産育児一時金について改正するためのもの

◎中部上北広域事業組合同約の変更について

・ 中部上北広域事業組合同約の議員定数を変更するため、地方自治法第二八六条第一項及び同法第二九〇条の規定に基づき、議会の議決を要するため

◎青森県市町村職員退職手当組合同約の一部を変更する規約案

・ 青森県市町村職員退職手当組合の現議会議員の任期が平成十八年十一月三十日までとなっており、合併等に伴い当該議員の選出区域及び定数の変更をするため、青森県市町村職員退職手当組合同約の変更について、関係地方公共団体と協議する必要がある生じ、地方自治法第二八六条第一項及び同法第二九〇条の規定に基づき、議会の議決を要するため

◎青森県消防補償等組合の共同処理する事務の変更及び青森県消防補償等組合同約の変更について

・ 消防組織法の一部を改正する法律が平成十八年六月十四日に公布、施行されたこと

とに伴い、本組合同約を変更する必要が生じ、地方自治法第二八六条第一項及び同法第二〇九条の規定に基づき、議会の議決を要するため

◎財産の取得について

・ 除雪グレーダを取得するためのもの

◎外姥沢町内線整備に関する陳情について

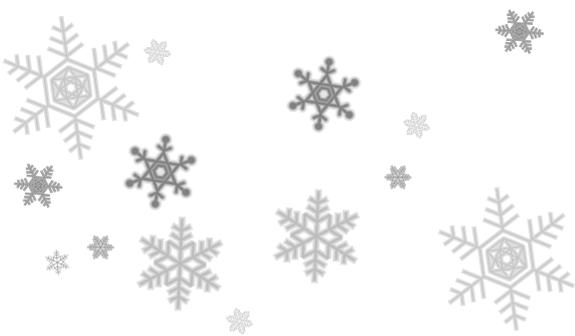
◎上清水目町内共同墓地に通じる道路整備に関する陳情について

決算監査報告要旨



報告する 笹倉勉代表監査委員

平成十七年度一般会計及び特別会計、企業会計の決算審査が七月二十七日から八月四日まで七日間実施されました。各会計の歳入歳出決算書並びに付属書類は計数が正確で事務も適正であると認める。ただし、町税等の収入未済額が増大していることから町財政の健全化に向け、徹底した取組みが望まれる。



一般質問 五議員 町政を問う



蛭沢正雄 議員

質問一
健康増進センターは建設と維持にどのくらい費用がかかるのか？

十五年度から健康増進センター建設を計画し、県や防衛庁にも要望・申請等しているようだが、申請しているから

には建設費用や収支計画等ある程度しつかりした数値等で要望・申請しているのではないのか。
建設費が十六億とか十七億とかいう話がありますが、改めて建設年次計画と建設費、完成後の年間維持費を伺います。

答弁

町長

年次計画として、今年度で基本計画が終わります。十九年度は、その協議のために時間を要することといたしております。過去に何度も答弁しているように、基本計画が立つてから、まちづくり委員会の意向も踏まえ十八年度中に収支計画等、議員の皆さんに説明させていただきたい。防衛庁についても、基本計画ができてから十九年度にいわゆる協議が行われる予定です。

質問二
落札件数が多い業者はどこか？

公共工事等は常日ごろから

談合の疑いがあると話題になっておりますが、さきに新聞報道等で「弘前の指名競争入札、機能せず」と見出しがありました。私が町の公共工事入札は適正に行われていると思えます。

そこで昨年度及び今年度の指名競争入札で落札件数の多い順に業者名を一覧表で示してください。

また、わが町の平均落札率は、何%か伺います。

答弁

町長

公共工事の入札の件については住民の方がいつでも縦覧できるように、本庁舎二階に入札業者あるいは指名業者、全部開示しております。それから、この四月から東北町のホームページで開示をし、だれでも見られるようになっております。あえてここで公表する必要はないと判断をいたしております。

公共工事の落札率について昨年十七年度は工事件数百六十六件で、落札率は九四・五%となっております。十八

年度、八月末まで工事件数は三十八件、関連業務委託十九件の九四・九四%ということになっております。

質問三
入札に参加できていないのは同じ業者ばかり

八月末までの公共工事の入札結果を見ますと、同じ業者が重複して入札に参加し、かわるがわる落札している。別な業者もいっぱいあるのに指名されるのは同じ業者ばかりである。どういう方法で、業者の組み合わせをやっているか。

また、冬の除雪の工区で同じ業者が何年も受注しているところがあるが、どういう方法で契約しているか。

答弁

町長

業者の選定については審査委員会を設けております。すべての業者を指名するわけにはいかない部分がありますので理解していただきたい。

除雪については随意契約でやっており、毎年同じ業者が同じ路線をやっているということについては、過去を調べてもそういうことはなく、いろいろ変わっています。

質問四
どんな方法で十九億円の借換えをしたのか

公債費を借り換えしないと町の財政運営ができないということと、さきの町議会で賛成多数で可決された市中銀行からの借換額約十九億円について、銀行各社の入札又は見積り等で、契約すべきだと考えるが、どういう実態で行われたか質問いたします。

答弁

町長

金融機関は県内いろいろありますが、折衝して一番安い一・九六%でやらせていただいております。なるべく利息も安くして負担の部分を減らしていこうという考えです。理解していただきたい。



岡 山 粕 男 議 員

農薬飛散に対する対策・支援はないか

質問一

食品衛生法で定められている農薬、肥料、添加物、動物用医薬品についての規制、ボジティブリスト制度が5月から施行されました。

全国防除協会の冊子を見ると、全部農家でやれということとです。国では規制の法律は作ったけれども対策は一向にないのが現状です。

農協では、最悪時に対応するため、保険の加入や、パンフレットの配布、適正農薬の使用指導、ドリフト対策に対応した障壁作物の試作等に取り組んでいるところである。国・県とも対策は農協任せのように見られますが、町としての対策はあるのか示していただきたい。

答 弁

町 長

それぞれ耕作する方々が、お互いに理解し、協力しあつて、防御ネット的にやらないと、風向等で自分の作物、あるいは相手に迷惑がかかることが起こり得る状況にあることは認識しています。

これは全国的な問題でもあり、町でも担当課で情報収集や、さまざまな検討しているが、まだ、良い策が実はありません。このことについては前向きに検討し、県等にも働きかけたいと思っております。

町内をコースとした駅伝大会を開催しよう

質問二

県民駅伝大会の当町の成績は、十四回大会でありながら十二連覇と非常に輝かしい成績をおさめ、分館対抗駅伝大会を初め、駅伝の町を宣言し取り組んできた成果と思っております。

昭和六十一年に始まった分

館対抗駅伝大会は、残念ながら昨年の十九回で取りやめとなったわけであります。駅伝大会やスキー大会を通し、気力、体力、根性が養われ、オリンピック選手を生んできたわけでありますが、伝統ある大会が合併後の行事の影響で取りやめになったとしたら、非常に残念であります。

分館駅伝は当初、乙供の町内をコースとした大会であり、商店街も駅伝を通したにぎわいがありました。合併し、新たに町内をコースとした駅伝大会を開催することで町の活性化にもなると思うがいかが

か。

答 弁

町 長

分館対抗駅伝の中止は参加する分館チームが減り、各分館長含めて、教育長、振興課を含めて協議した結果、中止をするという方向が出た経緯です。

しかし、この底辺から育てていかないと、たくましい活力のある子供が育つていかないだらう。県民駅伝総合優勝のむつ市では、小学校からい

ろんな駅伝をやつて今の礎を築いてきたというお話もしております。小さくても光る駅伝、それにふさわしいものが何かあるのか教育長以下共々検討させていただきたい。



駒 井 喜 左 衛 門 議 員

町民の森萌出山道路補修整備を早急に願う

質問一

昭和五十三年に町制施行十五周年に十四町歩を整備した町民の森の広場を通る道路が萌出町内に通っておりますが、広場や駐車場を作った関係から雨が降るたびに、低い萌出寄りに一気に水が流れていく事情をまず理解してほしい。低い道路部分が整備されていないために町内で困っております。

七年前から、要望や陳情と

答 弁

町 長

質問通告を受けてから課長等伴いまして、町民の森から萌出集落まで長靴を履いて歩いてまいり、今お話いただいた思いがひしひしとわかるような気がしました。

山間事業の補助事業では採択基準に満たされず厳しい判断をされておりますが、数ある補助事業にのせられるかどうか改めて検討したい。また排水についてもどうしたら集落の方に行かないようになるのかを含めて検討したいと思っております。

駒井議員、地域の思いは十二分に承知いたしましたので前向きに、原点到返つてこの整備について考えてみたい。



山端伸憲 議員

質問
汚水処理施設整備の計画を問う

現在の湖畔、浜台から鶴ヶ崎の汚水処理計画と全体事業の進行予定についてお聞きします。

また、汚水処理の施設整備について隣接の七戸町、六ヶ所村そして十和田市が地域再生計画として取り組んで、既に認定受けています。これにより、公共下水道、集落排水として浄化槽などの関係省庁の枠組みを超えた交付金を使えることとなりますので、早期に地域に根差した汚水処理計画ができると思うが、我が町では取り組む予定はないのか。また、全体計画の中での加入状況と加入促進についてのの方策について伺います。

答弁

町長

浜台地区について大体二十五年程度頃をめどに整備したいという思いで計画の上のせてあります。整備状況については県の平均が六二・五に對我町は三四・七と大きく下回っている状況です。

加入促進は大変大事なことであり、せっかく整備しても、加入する人がないと、やった効果は出ないわけですから、その辺は事業計画するときに、地域の方々の理解を十分得ながら促進を図っていききたいと思っております。

地域再生法の活用ということにつきましては、また我が町ではやっておりませんが、合併層についても補助事業とされているように、再生法も含め財政負担を少なくしていきたい。

質問

合併後の行事の変更と今後の取組みについて

我が町の人材育成についてはですが、旧町時代の行事の変更と今後の取り組みについて行事及び学習内容について答弁願います。

答弁

学務課長

合併後の小学校、中学校の関係行事で十八年度以降廃止の予定になっている事業は、学校教育振興会が主催する小学校スキー大会のみであり、ほかはこれまでどおり継続していきます。

このスキー大会を廃止する大きな理由は、上北地区の学校では授業でもスキーを取り上げていないということから、新しくスタートするとなると用具の準備というのが必要でございませう。また、東北地区と違いまして雪も少ないということから、町全体の取り組みの姿勢というのでも東北地区と違って異なっております。仮に大会を継続するとなれば、上北地区の学校のスキーの用具関係、この準備が必要となり、経費的にも保護者に負担が大きくなると思えます。また、地域的事情から仮に用具

を準備しても、この大会のみの対応になってしまわないか、こんな心配も想定されます。

今後考えられる対応であります。仮に経費負担を求めないとすれば、東北地区だけの大会として継続していくというようなことが考えられます。



松尾時次 議員

質問
松くい虫対策について

赤松が当町にどのくらい面積があり、松くい虫の生態や修正、駆除方法など対策をお聞きします。

答弁

町長

赤松の我が町の面積は、自

答弁

農林水産課長

然林、人工林合わせて千三百六十六ヘクタールとなっております。その外側に黒松が五十四ヘクタールぐらいあるということです。

一般的に松くい虫と言われているものはマツノザイセンチュウという1ミリにも満たない線虫で、これ自体は移動手段を持たなく、もう一匹マツノマダラカミキリという昆虫がこの線虫を運んで、健康な松から松に移動して歩き、このカミキリが新しい松の芽を食害した後、その傷口から線虫が入り込んで松の中身を食い荒らすと。そういう影響で松が生態を壊して枯れた段階で、カミキリがその中に卵を生んで、その中で越冬して春先に成虫となって飛び出るときに、線虫がまたそのカミキリに取りつくというサイクルをもつて、新しい松の木に次から次へと移動して歩いて被害を広げるといふ、この2匹の線虫とカミキリの共同作業で被害を与えているということだそう。したがって、

被害を防止するには、この2匹の虫の関係を断ち切る必要があります。だと言われているとあります。

質問一

町民バスについて

町民の目線からの町民バスについての意見を聞いてきました。

「停留所を乙供駅前に行かないか」「運行時間にもっとゆとりが欲しい」「有料化すべきだ」とこの三点について町長の考えを素直に実直な意見を求めます。

答弁

町長

東北地区は四月から一路線を試行し、月平均三千五百人もの利用者があり驚いています。

停留所を駅前寄りにとの声には現在試行期間ですので事故が起きないような安全な場所なのか調査して検討したい。運行時間について、この町民無料バスは、あくまでもスクールバスの空き時間帯を利用していますのでご理解いた

だきたい。

有料化については、スクールバスの補助金等やっている関係上、有料化するわけにはいきません。そうするとバスの補助金が対象にならなくなります。いわゆる補助金もらったスクールバスの空き時間帯を有効活用し、住民サービスをしてまいります。

質問三

町の除雪は時間の厳守がなく、内容も悪い

冬期間の町の除雪について「時間の厳守がない」「除雪の内容が悪い」「幾つもの路線をやっている業者もいるのか」という声がよく聞かれますので、町民にわかりやすく説明できるようにお願いしたい。

答弁

町長

去年、除雪についてそのような問題点がありまして、常任委員会を開催し、また、正月明けに全業者を集めて、出

されている問題点のことについて話し合いをして、ある意味ではベナルティを科した経緯があります。したがって、作業時間を守る、作業内容をきちつと把握しながらやることで確認しています。そして、これから路線を決めることになりませんが、路線の見直しをして、どの範囲のところであれば適正に、時間帯を設けて住民サービスができるのかという方向を出しております。



各種委員会及び

協議会の活動

★総務企画常任委員会

8月21日	開催日
①9月議会提出案件の概要について ②その他	事件(内容)

★産業建設常任委員会

8月21日	開催日
①外姥沢町内線整備に関する陳情について ②平成18年度主要事業進捗状況について ③9月議会提出案件の概要について ④その他	事件(内容)

★教育民生常任委員会

開催日	8月22日
事 件 (内容)	① 9月議会提出案件の概要について ② その他

★議会運営委員会

開催日	8月28日
事 件 (内容)	① 平成18年度第3回東北町議会定例会付議事件について ② 一般質問通告状況 ③ 請願・陳情書等受理状況 ④ 懇親会について ⑤ その他

★全員協議会

開催日	8月9日
事 件 (内容)	① 作業員の放射性物質の体内取り込みに係る調査結果について ② アクティブ試験に中間報告(その1)について ③ その他

委員会報告

○総務企画常任委員会

(八月二十一日) 委員長 蛭名 義政



補正について質疑があり、これは電源立地交付金を充当するものであるが、交付金が当初見込みより下回ったため、一般財源から不足分を支出するとの説明がありました。これに関連して、消防費に限らず、中部上北事業組合には行財政改革において、これといった改革が見られない。もっと厳しさを持って対応して欲しいとの意見が述べられた。このことに対して、七戸町と協議し、財政課或いは総務課企画課等々で協議することになっていくとの回答がありました。

次に、企画課では、並行在来線について質疑があり、当時青森県は、平成十四年十二月八戸開業に向け、並行在来線経営計画素案で駅周辺の整備計画まで示している。東北町青い森鉄道活用会議のメンバーはその内容を知らない。そういう部分で、行政は責任をもってやってもらわなければならないとの意見が述べられた。このことに対して、青森県知事も国の関与について行動を起こしている。これから各市町村まとまって行動を起こすことになる。今後、

中部消防費不足分を一般財源から、並行在来線市町村一丸に
財政課では、中部上北広域事業組合負担金(消防費)の

○産業建設常任委員会

(八月二十一日) 委員長 蓬畑 金介



駅縮小の問題が出てくる可能性があるが、現状維持が関係市町村の基本であるとの答弁がありました。最後に、町有遊休資産処分取組みについて質疑が交わされた。

下水道加入率三七・九%対策が必要

商工観光課では、湖水祭りについて質疑があり、開催場所等が町民に周知されていない部分もあり不満があるようなので、合併して間もないこ



委員長 田嶋 悟
(八月二十二日)

○教育民生常任委員会

とだから、事業実施に際し、もつと慎重を期していただきたいとの意見が述べられた。次に、下水道課では、公共下水道の加入率について質疑があり、東北地区では整備人口率で三七・九パーセントとこのことであり、十四年度供用開始以降加入が進んでいないのではないかと加入させる方法等対策を講じる必要があるなどの意見がのべられた。このことに対して、何がネックになっているか分析し、加入促進を図って行きたいとの回答がありました。

出産育児一時金増額・花いっぱい運動は町内ごとに申し込み

町民課では、東北町国民健康保険税条例の一部改正案の出産育児一時金について、町独自の考えがないのか、との質疑に対して、国保運営協議会では少子化対策ということであれば、三十五万とは言わず四十万に上げたらどうかという意見もありましたが、国保財政を勘案し、今回の社保の改正にあわせた形となった。今後、出産祝金とか何らかの形でできないか検討してみます、との回答がありました。

次に、保健衛生課では、町民バスの運行により利用者が増加していることによる老人福祉センターの運営等について、質疑が交わされた。

次に、中央公民館では、図書館司書の講習会に町民課の窓口の職員が行っていることから、町民に対するサービスが行き届かない部分も出てきている。その辺も配慮していただきたい、との意見がのべられ、このことに対しては、講習が九月十七日に終了する

ので、資格の関係も見ながら今後の配置を決めたい。2ヶ月間、みんなでカバーしてやって行きたいとの回答でした。また、図書の実践ということ、大塚甲山など歴史的に著名な人物の資料を整理し、次の世代に引き継ぐことは大事なことでないか、などの意見が述べられた。

次に、社会教育課では、花いっぱい運動について、緑肥が植えられている花壇があることから、苗木の取りまとめなどの手順が適正であったのか、どうか質疑があり、このことについては、旧、旧で配布の仕方等が違っていたので、十八年度から町内のコミュニティづくりの一環として、町内ごとに申込をして頂くことにいたしました。回覧もまわし、行政連絡員会議でもお願いをしていますが、周知徹底がなされていない面もあるかと思えます。今後、このようなことのないよう周知徹底させたいとの回答でありました。

年賀状
欠礼の
お知らせ

議員による寄付行為や自書以外のあいさつ状は、公職選挙法によって禁じられております。従って印刷による年賀状は欠礼させて頂きますので宜しくご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東北町議会議員一同



編集後記

今月は議会だより第六号をお届けします。本号は九月定例会の審議内容を編集しましたが内容の一部分を要約しておりますことをご了承ください。

新編集委員会での編集となりましたが、町民の皆様にご覧の広報に全力を尽くしてまいります。どうか遠慮なく、ご意見、ご要望等ありましたら匿名でも結構ですので、ご投稿をお願いします。

- 議長 長 檜 館 長 吉
- 委員長 笹 倉 健
- 副委員長 蛭 沢 正 雄
- 委員 佐々木 スミヨ
- 委員 沼田 徳右衛門
- 委員 森 川 盛 人
- 委員 岡 山 粕 男